

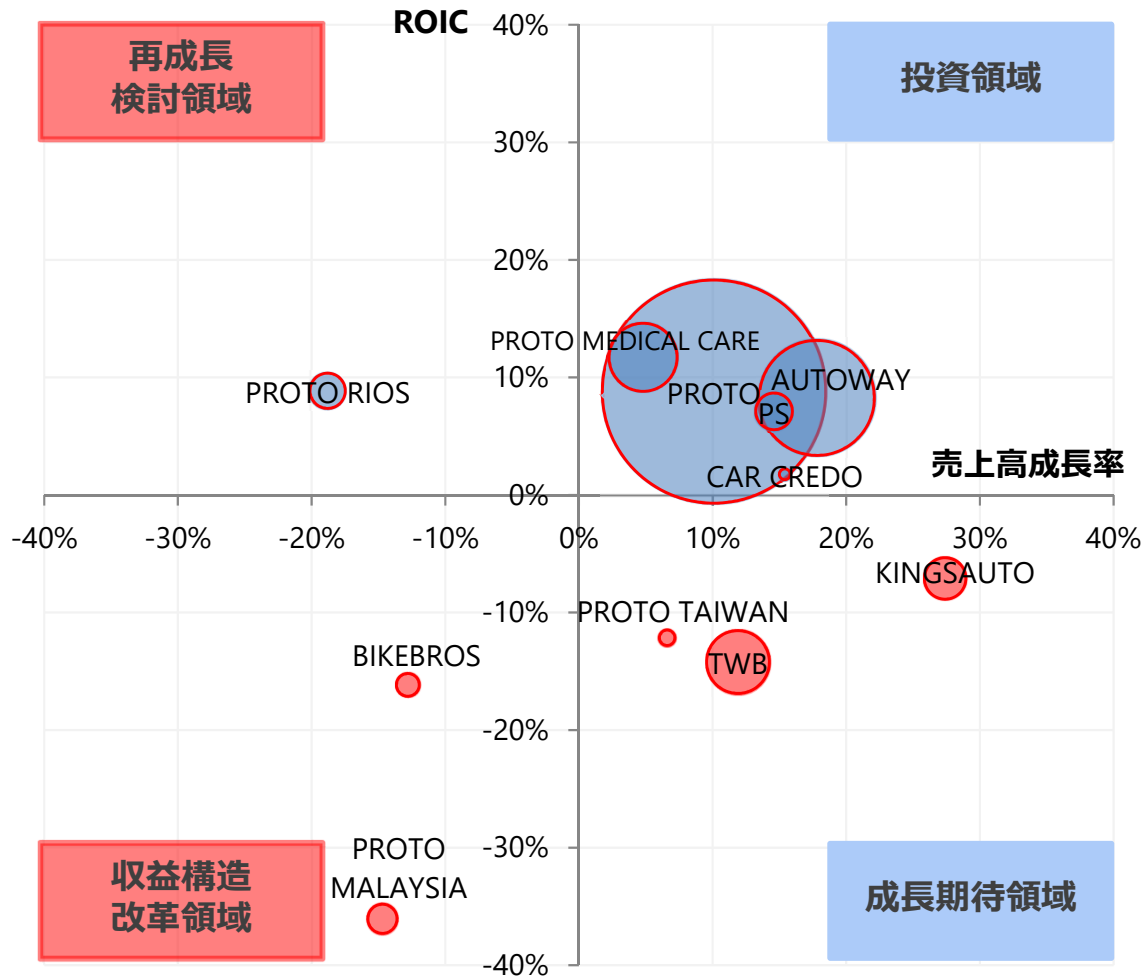
2019年3月期 第3四半期決算概要

株式会社プロトコーポレーション
2019年1月31日



2019年3月期の主な取組み（収益構造改革）

2018年3月期の事業ポートフォリオ



1. 投資領域の収益性改善

2. ROICがマイナスとなっているグループ会社の収益性改善

ROIC : NOPAT(税引後営業利益)/投下資本 (純資産 + 有利子負債)
 円の大きさは営業損益のサイズ (青=営業利益、赤=営業損失)

2019年3月期 第3四半期ハイライト

■業績ハイライト（2018年4-12月累計）

売上高	47,820	百万円	-前年同期比	+2.2%
EBITDA	4,983	百万円	-前年同期比	+14.1%
営業利益	3,958	百万円	-前年同期比	+29.0%
経常利益	4,228	百万円	-前年同期比	+30.4%
四半期純利益	2,709	百万円	-前年同期比	+65.3%

■トピックス

- ・売上高・営業利益は計画値を超えて着地。収益構造改革の着実な進展
- ・MOTORGATE取引社数 14,871社（前年同期比+7.3%）
- ・グーピット有料掲載工場数 3,236工場（前年同期比+43.2%）
- ・DataLine SalesGuide導入拠点数 5,244拠点（前年同期比+15.5%）
- ・2018年12月：CAR CREDO (Thailand) Co., Ltd 新規設立
- ・2018年12月：おいくら事業（リユース）の会社分割を決議（2019年2月予定）
- ・2019年 1月：(株)バイクブロスの不採算事業の撤退、吸収合併を決議（2019年4月予定）

2019年3月期 第3四半期 連結業績（1）

(単位：百万円)	2017年4-12月		2018年4-12月			
	実績 (a)	売上比	計画 (b)	売上比	実績 (c)	売上比
売上高	46,788	100.0%	47,538	100.0%	47,820	100.0%
売上総利益	17,539	37.5%	18,070	38.0%	18,024	37.7%
EBITDA	4,367	9.3%	4,661	9.8%	4,983	10.4%
営業利益	3,068	6.6%	3,619	7.6%	3,958	8.3%
経常利益	3,243	6.9%	3,837	8.1%	4,228	8.8%
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,639	3.5%	2,479	5.2%	2,709	5.7%
1株当たり四半期純利益（円）	81.73	-	123.60	-	135.10	-

前期対比		計対比	
(c)-(a)	%	(c)-(b)	%
1,032	102.2%	282	100.6%
485	102.8%	▲45	99.7%
616	114.1%	321	106.9%
890	129.0%	338	109.4%
984	130.4%	390	110.2%
1,070	165.3%	230	109.3%
53.37	165.3%	11.50	109.3%

※2019年3月期の計画値は、2018年10月31日公表の計画値であります。（以下同様）

※EBITDAは、「営業利益+減価償却費+のれん償却額」にて算出しております。

(単位：百万円)	2017年4-12月		2018年4-12月			
	実績 (a)	売上比	計画 (b)	売上比	実績 (c)	売上比
販売費及び一般管理費	14,471	30.9%	14,451	30.4%	14,066	29.4%
人件費	6,013	12.9%	6,037	12.7%	5,865	12.3%
広告宣伝費	3,079	6.6%	3,163	6.7%	3,105	6.5%
その他	5,377	11.5%	5,250	11.0%	5,094	10.7%

前期対比		計対比	
(c)-(a)	%	(c)-(b)	%
▲405	97.2%	▲384	97.3%
▲147	97.5%	▲171	97.2%
25	100.8%	▲57	98.2%
▲283	94.7%	▲155	97.0%

売上高

主に情報・サービス（DataLine SalesGuide等）及び物品販売（中古車輸出等）が堅調に推移したことにより増収となった

営業利益

主にプロトコーポレーションの増収及び収益性の改善により増益となった

売上総利益率

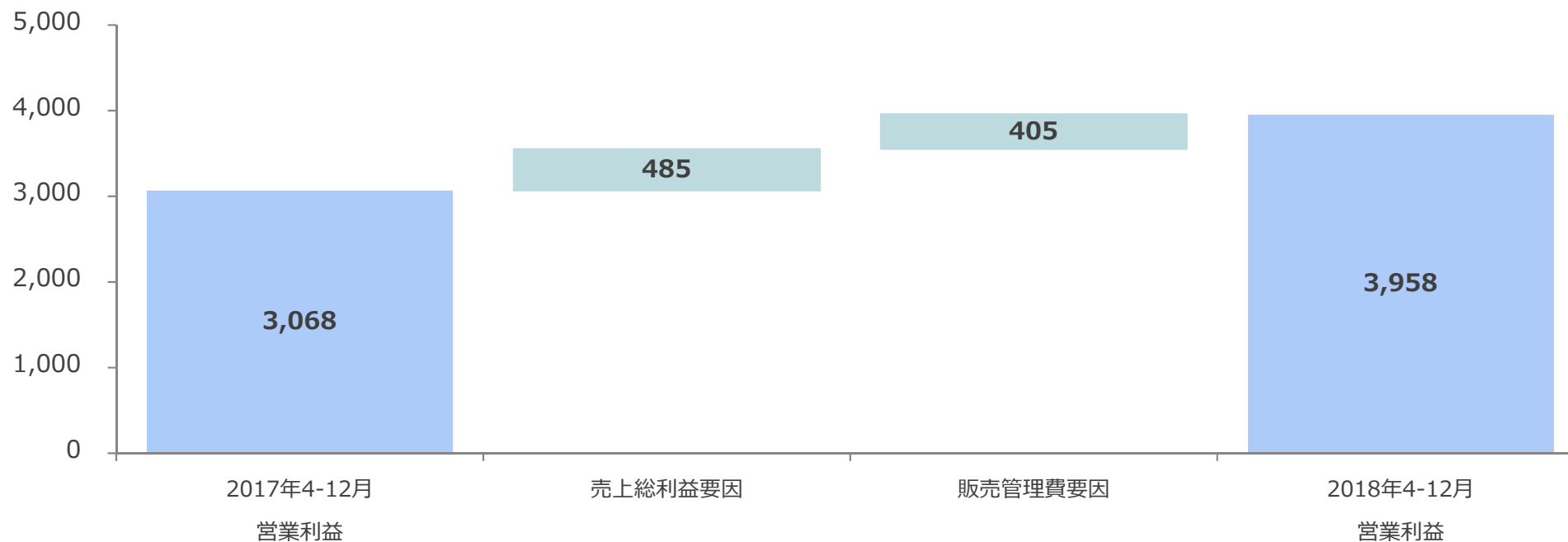
売上総利益率は37.7%（前年同期比+0.2pt）。収益性の改善が進む

2019年3月期 第3四半期 連結業績（2）

■ 営業利益増減分析

（単位：百万円）

売上総利益要因	+485	販売管理費要因	+405	営業利益増減	+890
プロトコーポレーション	+827	プロトコーポレーション	▲262	プロトコーポレーション	+565
プロトリオス	▲64	プロトリオス	+192	プロトリオス	+127
オートウェイ	+101	オートウェイ	▲201	オートウェイ	▲100
タイヤワールド館ベスト	▲208	タイヤワールド館ベスト	+309	タイヤワールド館ベスト	+101
キングスオート	+16	キングスオート	+89	キングスオート	+106
バイクブロス	▲8	バイクブロス	+21	バイクブロス	+13
		のれん償却額	+144	のれん償却額	+144
主にプロトコーポレーションにおける 広告関連（MOTORGATE・グーピット）、 情報・サービス（DataLine等）の増収・ 収益性改善が増益に寄与		主にタイヤワールド館ベスト・プロト リオス・キングスオートの販売管理費 抑制が寄与		プロトコーポレーション及びグループ 各社の収益性改善が増益に寄与	



2019年3月期 第3四半期 連結業績：セグメント別

売上高 (単位：百万円)	2017年4-12月		2018年4-12月			
	実績(a)	構成比	計画(b)	構成比	実績(c)	構成比
自動車関連情報	42,339	90.5%	42,912	90.3%	43,275	90.5%
広告関連	16,163	34.5%	15,959	33.6%	15,880	33.2%
情報・サービス	3,697	7.9%	3,598	7.6%	3,705	7.7%
物品販売	22,478	48.0%	23,354	49.1%	23,688	49.5%
生活関連情報	3,277	7.0%	3,283	6.9%	3,264	6.8%
不動産	159	0.3%	146	0.3%	147	0.3%
その他	1,012	2.2%	1,195	2.5%	1,132	2.4%
合計	46,788	100.0%	47,538	100.0%	47,820	100.0%

前期対比		計画対比	
(c)-(a)	%	(c)-(b)	%
935	102.2%	362	100.8%
▲282	98.2%	▲78	99.5%
8	100.2%	107	103.0%
1,210	105.4%	333	101.4%
▲12	99.6%	▲18	99.4%
▲11	92.8%	1	100.9%
120	111.9%	▲62	94.7%
1,032	102.2%	282	100.6%

営業利益 (単位：百万円)	2017年4-12月		2018年4-12月			
	実績(a)	利益率	計画(b)	利益率	実績(c)	利益率
自動車関連情報	3,988	9.4%	4,500	10.5%	4,772	11.0%
生活関連情報	308	9.4%	204	6.2%	234	7.2%
不動産	135	84.9%	135	92.7%	147	99.6%
その他	▲73	-	35	3.0%	42	3.7%
管理部門	▲1,291	-	▲1,256	-	▲1,238	-
合計	3,068	6.6%	3,619	7.6%	3,958	8.3%

前期対比		計画対比	
(c)-(a)	%	(c)-(b)	%
783	119.6%	272	106.1%
▲74	75.9%	29	114.6%
12	108.9%	11	108.5%
115	-	6	117.8%
53	-	18	-
890	129.0%	338	109.4%

自動車関連情報

増収増益：主に中古車輸出・DataLine SalesGuide・グーピット等の増収効果に加え、情報誌コスト削減等の収益構造改革により増益

広告関連

主な減収要因は、書籍売上・チラシ売上等の削減。一方、MOTOR GATE利用料・グーピットは増収。

情報・サービス

主な増収要因は、DataLine SalesGuideの増収。一方、プロトリオスのシステム売上は減収。

物品販売

主な増収要因は、キングスオートの中古車輸出、オートウェイのタイヤ販売が堅調に推移。

生活関連情報

減収減益：介護・医療・福祉分野のプロモーション強化等により減益。

2019年3月期 第3四半期 連結貸借対照表

(単位：百万円)	2018年3月期 期末		2019年3月期 第3四半期末		増減	
	実績(a)	構成比	実績(b)	構成比	(b)-(a)	%
流動資産	27,675	62.3%	27,660	62.4%	▲14	99.9%
固定資産	16,718	37.7%	16,692	37.6%	▲26	99.8%
流動負債	16,143	36.4%	14,845	33.5%	▲1,298	92.0%
固定負債	2,272	5.1%	1,937	4.4%	▲334	85.3%
純資産	25,977	58.5%	27,569	62.1%	1,592	106.1%
総資産	44,393	100.0%	44,352	100.0%	▲40	99.9%

(単位：百万円)	2018年3月期 期末		2019年3月期 第3四半期末		増減	
	実績(a)	構成比	実績(b)	構成比	(b)-(a)	%
現金及び預金	16,120	36.3%	16,062	36.2%	▲57	99.6%
有利子負債	8,590	19.4%	7,251	16.4%	▲1,338	84.4%
ネットキャッシュ	7,530	17.0%	8,810	19.9%	1,280	117.0%

流動資産 主な減少要因は、たな卸資産が26百万円減少したため

固定資産 主な減少要因は、減価償却費・のれん償却額の計上によるもの

流動負債 主な減少要因は、短期借入金が978百万円減少したため（一年内返済長期借入金含む）

固定負債 主な減少要因は、長期借入金が359百万円減少したため

2019年3月期 第3四半期 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)	2017年4-12月	2018年4-12月	増減
	実績(a)	実績(b)	(b)-(a)
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,367	3,323	▲43
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲1,682	▲1,024	657
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,502	▲2,367	▲3,870
現金及び現金同等物の期末残高	15,579	15,671	92

(単位：百万円)	2017年4-12月	2018年4-12月	増減
	実績(a)	実績(b)	(b)-(a)
投資額（有形・無形固定資産）	1,862	1,087	▲775
減価償却費	824	694	▲129
のれん償却額	474	329	▲144

営業活動による キャッシュ・フロー

主に税金等調整前四半期純利益4,219百万円、支出を伴わない減価償却費、のれん償却額の合計が1,024百万円発生したことなどから、3,323百万円の収入となった。

投資活動による キャッシュ・フロー

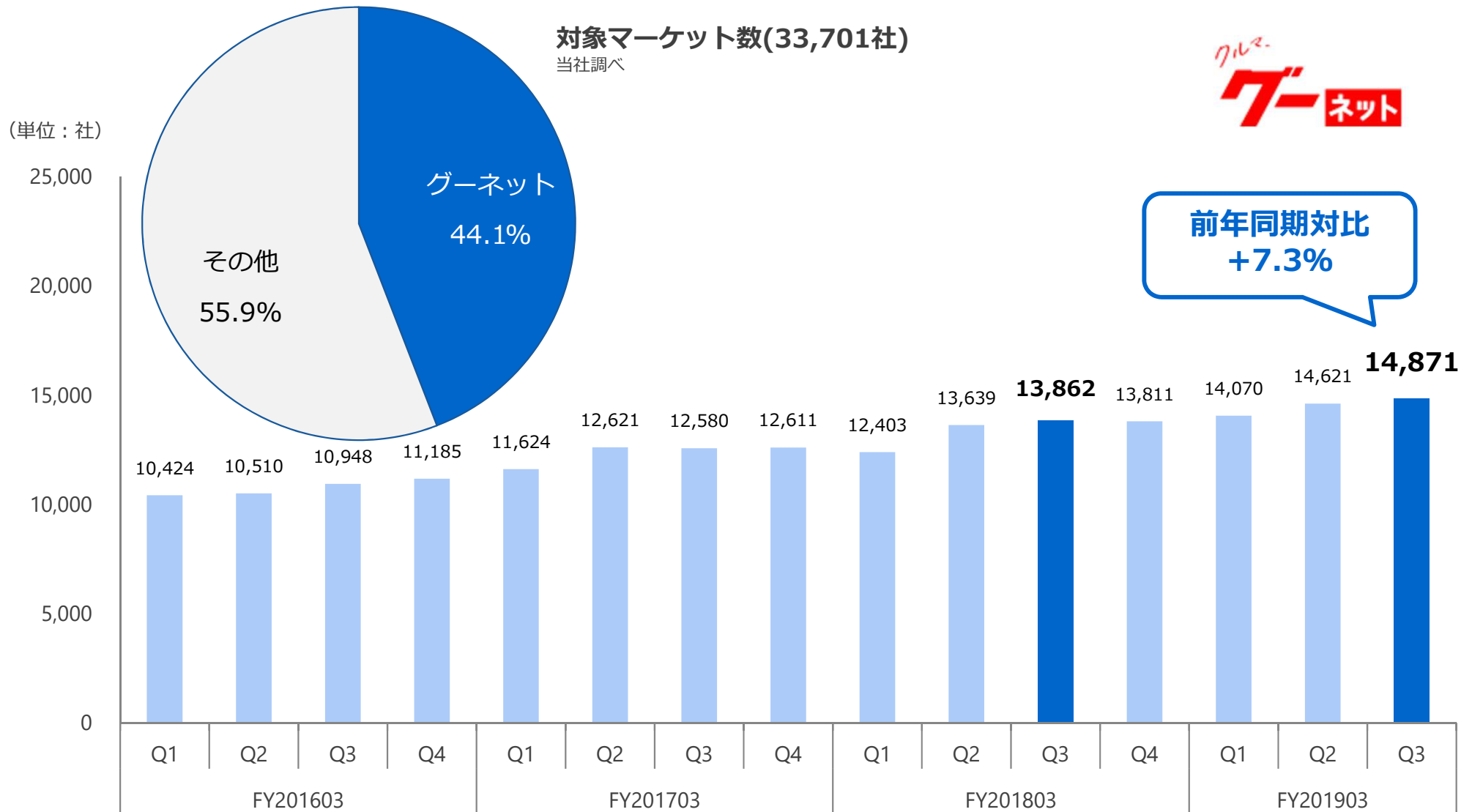
主に固定資産の取得による支出が1,034百万円発生したことなどから、1,024百万円の支出となった。

財務活動による キャッシュ・フロー

主に借入金の返済が1,338百万円、配当金の支払が993百万円発生したことなどから、2,367百万円の支出となった。

KPI

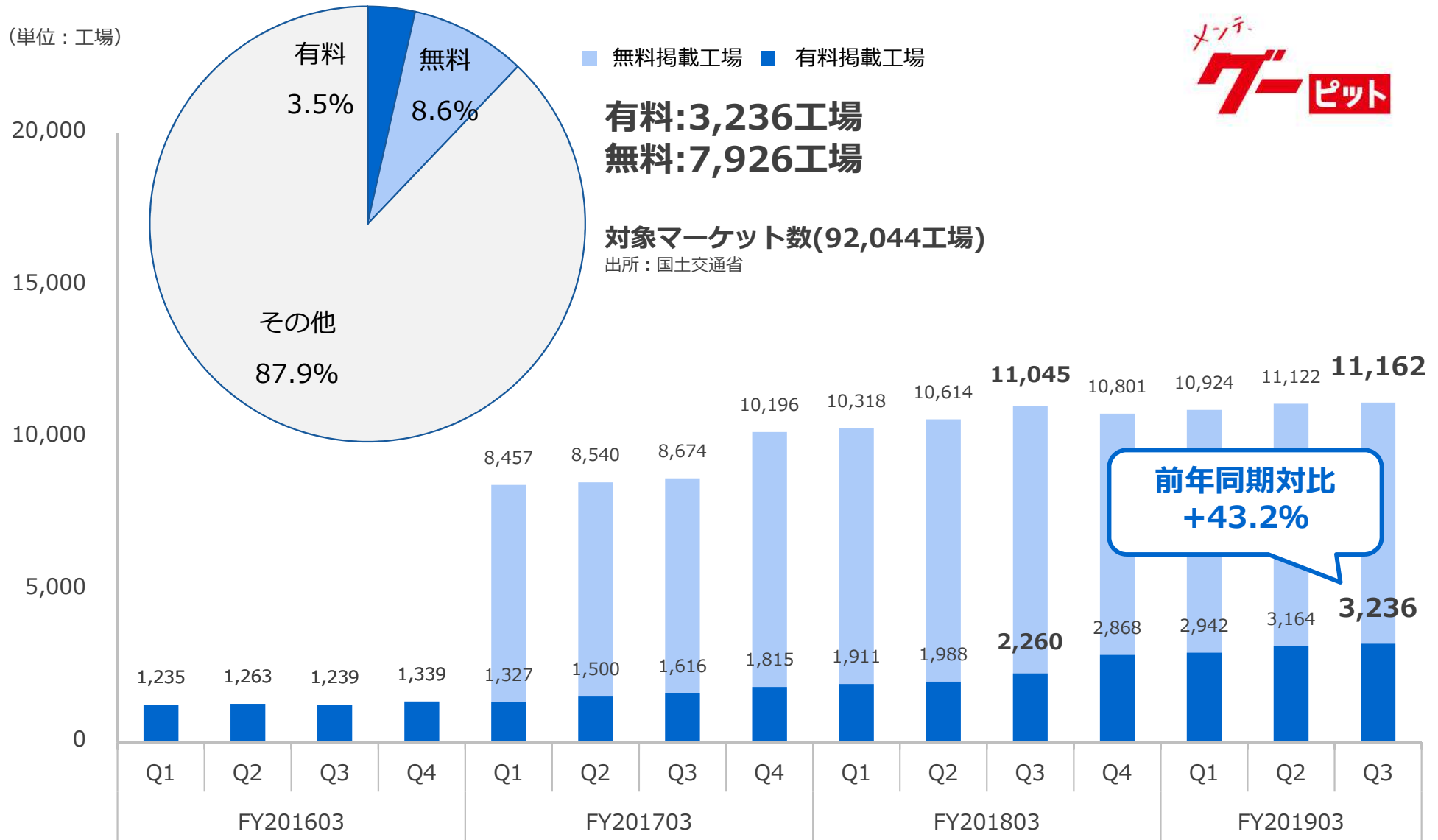
自動車関連KPI：中古車（ゲーネット取引社数）



ゲーネット取引社数は14,871社に増加

自動車関連KPI：整備（ゲーピット取引社数）

(単位：工場)



ゲーピット有料掲載工場数は3,236工場に増加

整備領域の取り組み

グーピット整備工場作業実績の投稿数（累計）

(単位：件)
200,000



前年同期対比
+89.0%



※ 整備工場作業実績の投稿数（累計）：
グーピットの作業実績の四半期末時点における累計投稿数

作業実績コンテンツ

作業実績コンテンツの一例として、パーツ持込み取付、車検・点検、整備・修理・塗装・板金等の作業実績が掲載されています。

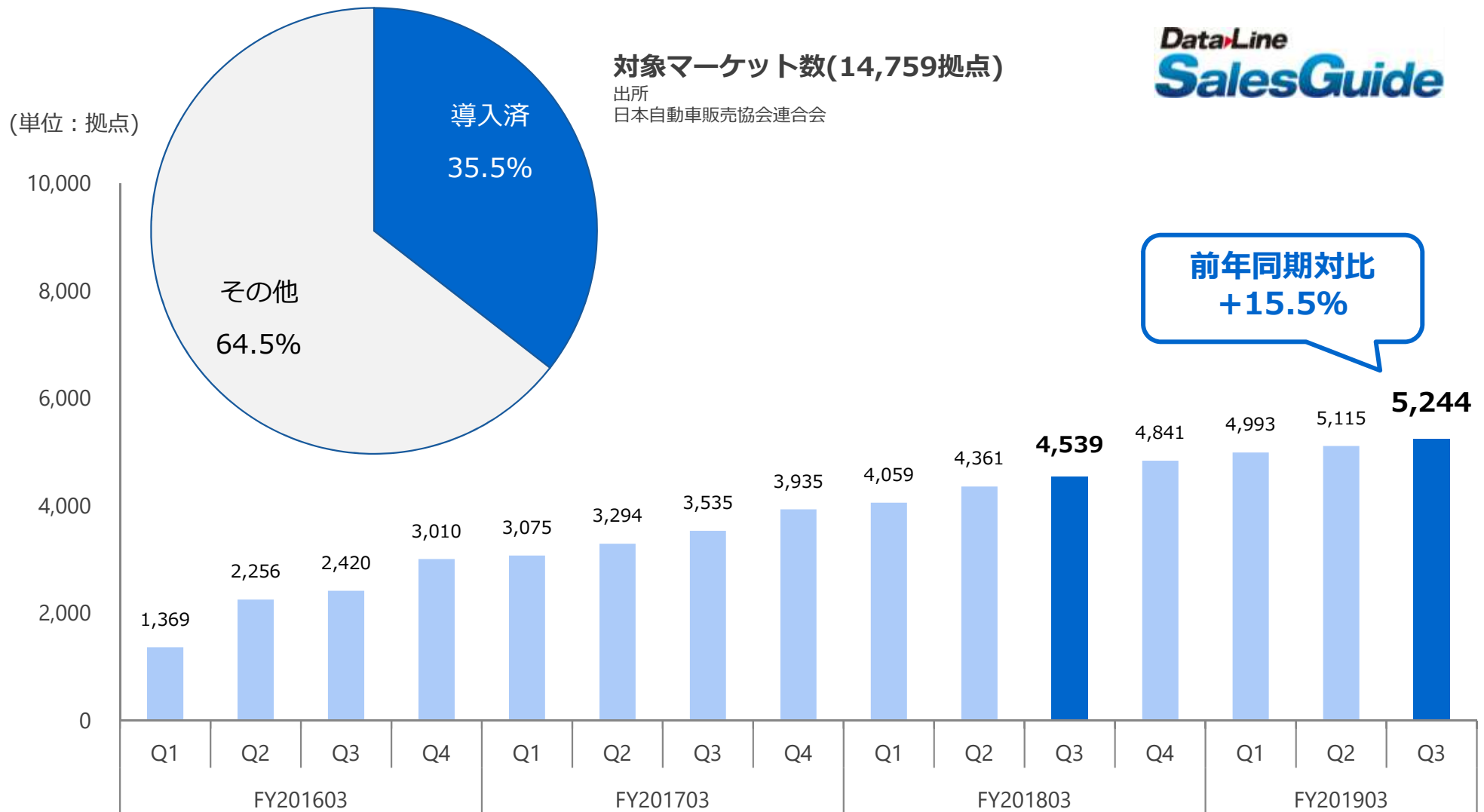
費用明細

項目	数量	単価	金額	消費税	区分	備考
前後トラレコ工賃込み	1.0	50,000	50,000	課税	工賃 & 部品	
小計(課税) (①)						50,000円
消費税 (②)						4,000円
小計(非課税) (③)						0円
値引き (④)						-円
総額(消費税込) (①+②+④)						54,000円

費用明細を反映した作業実績も充実

グーピットの作業実績コンテンツの拡充により、オーガニック検索による流入数が拡大。集客力の強化を推進

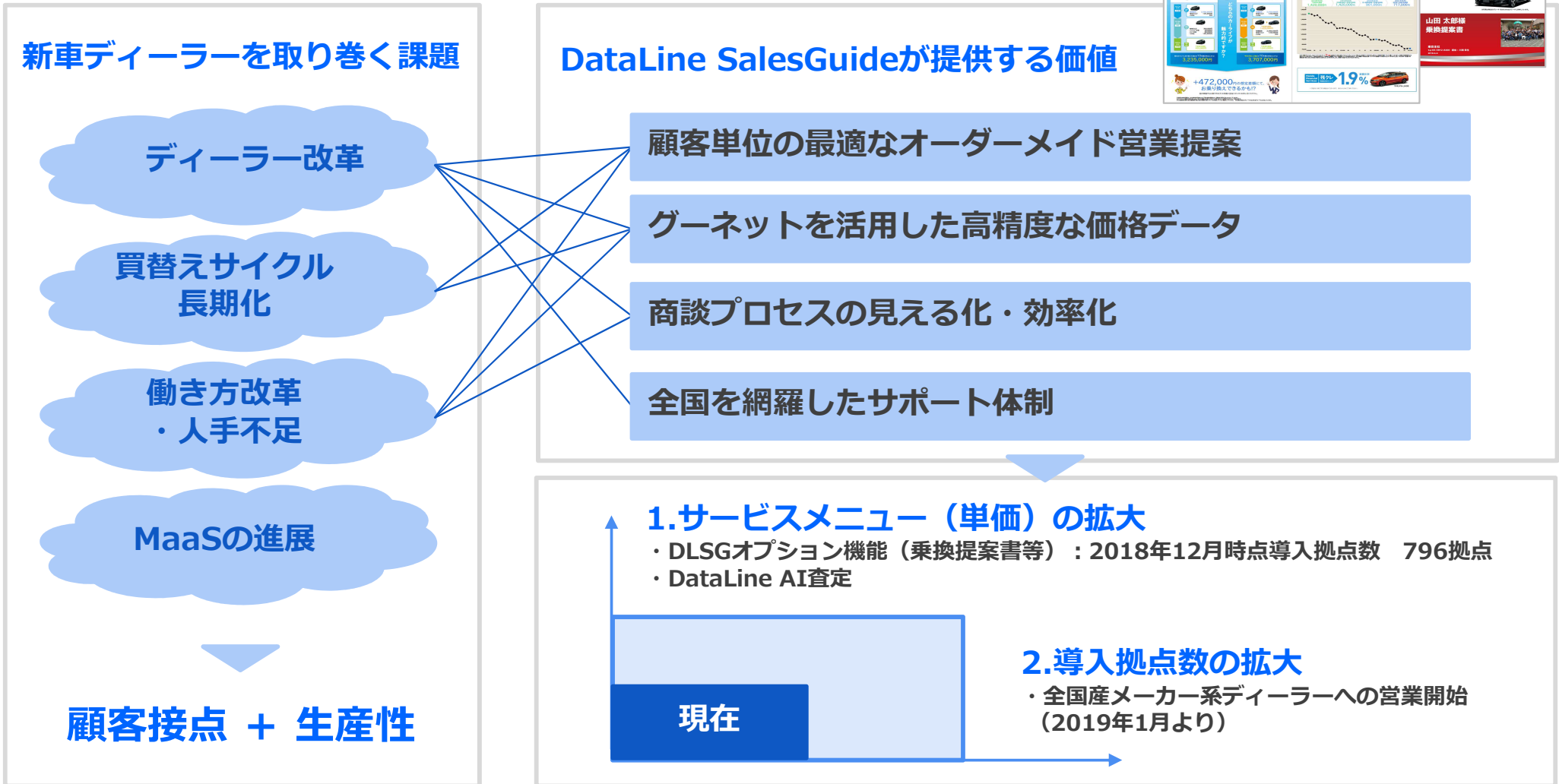
自動車関連KPI：新車（DataLine SalesGuide導入拠点数）



**DataLine SalesGuide（新車商談ツール）導入拠点は5,244拠点に増加
新車ディーラーの経営支援プラットフォームの確立へ**

新車領域の取組み（1）

■ DataLine SalesGuideの導入背景・効果



新車ディーラーの顧客接点強化、生産性向上の実現を通じて、
経営支援プラットフォームの成長を図る

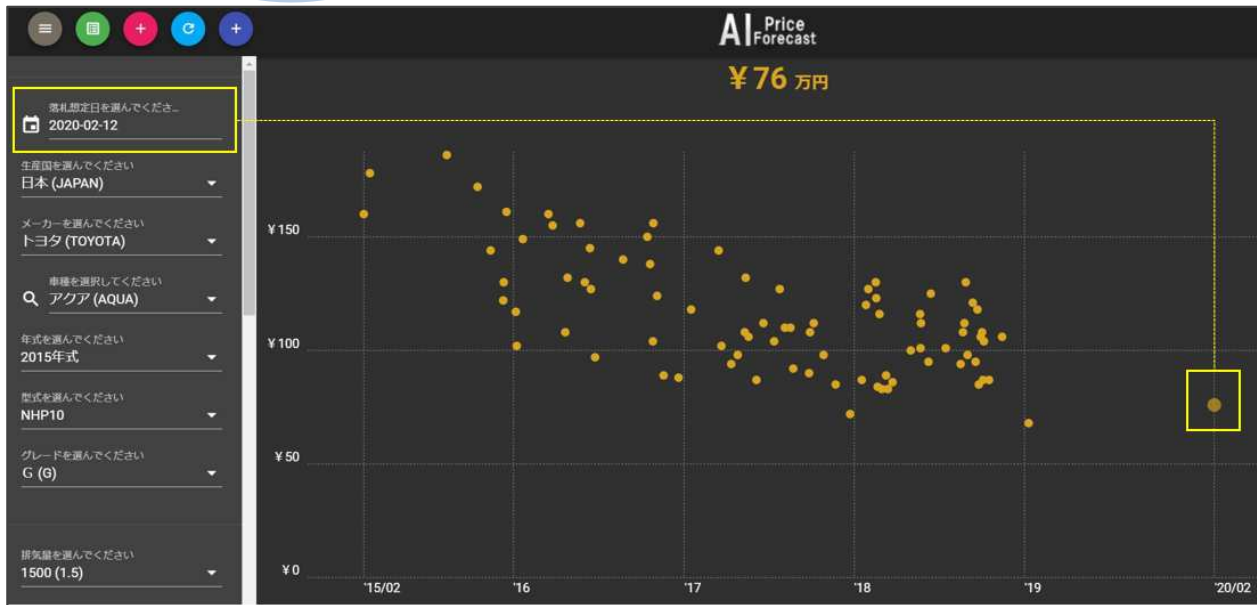
新車領域の取組み (2)

■ DataLine AI査定の開発



下取車査定プロセスにおけるAI活用

- ・ 査定プロセスのスピード、正確性、コストの改善
- ・ AI Price Forecastによる中古車査定価格の自動算定
- ・ 下取車販売時の粗利・リードタイム最適化
- ・ 下取車販売時の販売チャネルの自動選定（中古車小売・卸売）



小売/AA 状況	小売成約率	成約申請-平均掲載日数
	36.74%	45日

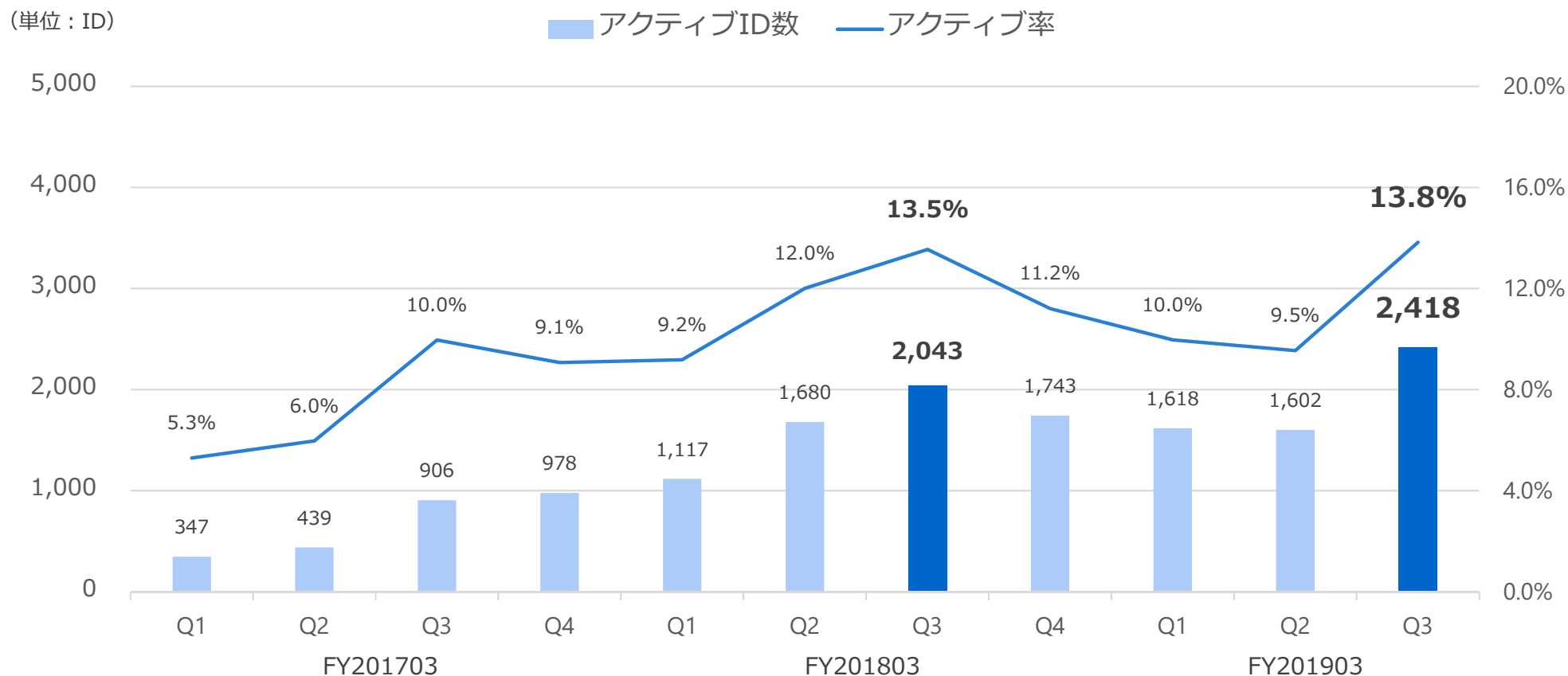
査定額	小売価格	小売-査定
¥746,000	¥1,134,071	+388,071

AA原札価格	AA-査定
¥855,977	+109,977

テクノロジーを活用した下取車査定プロセスのデジタル化推進

物品販売：MOTORGATEショッピング

アクティブID数・アクティブ率の推移



※MOTOR GATEショッピングを1ヶ月に1回以上利用した掲載店をアクティブと定義。

※主要な取扱品目は以下の通り

- ・国産タイヤ・ホイール
- ・輸入タイヤ・ホイール

納期改善により、タイヤの需要期（第3四半期）を中心に着実に成長

2019年3月期 通期業績予想 (2018/10/31公表)

2019年3月期 連結業績予想

(単位：百万円)	2018年3月期		2019年3月期			
	実績 (a)	売上比	期初計画 (b)	売上比	修正計画 (c)	売上比
売上高	62,111	100.0%	62,370	100.0%	62,728	100.0%
売上総利益	23,142	37.3%	24,622	39.5%	24,165	38.5%
EBITDA	5,396	8.7%	5,500	8.8%	5,804	9.3%
営業利益	3,674	5.9%	4,100	6.6%	4,420	7.0%
経常利益	3,735	6.0%	4,125	6.6%	4,644	7.4%
親会社株主に帰属する当期純利益	519	0.8%	2,700	4.3%	2,978	4.7%
1株当たり当期純利益 (円)	25.89	-	134.61	-	148.49	-

※ EBITDAは、「営業利益+減価償却費+のれん償却額」にて算出しております。

前期対比		期初計画対比	
(c)-(a)	%	(c)-(b)	%
616	101.0%	358	100.6%
1,022	104.4%	▲456	98.1%
408	107.6%	303	105.5%
745	120.3%	320	107.8%
908	124.3%	519	112.6%
2,459	573.6%	278	110.3%
122.60	573.5%	13.88	110.3%

(単位：百万円)	2018年3月期		2019年3月期			
	実績 (a)	売上比	期初計画 (b)	売上比	修正計画 (c)	売上比
販売費及び一般管理費	19,467	31.3%	20,522	32.9%	19,744	31.5%
人件費	8,066	13.0%	8,515	13.7%	8,127	13.0%
広告宣伝費	4,295	6.9%	4,537	7.3%	4,500	7.2%
その他	7,106	11.4%	7,468	12.0%	7,117	11.3%

前期対比		期初計画対比	
(c)-(a)	%	(c)-(b)	%
276	101.4%	▲777	96.2%
61	100.8%	▲388	95.4%
204	104.8%	▲37	99.2%
11	100.2%	▲350	95.3%

2019年3月期 連結業績予想：セグメント別

売上高 (単位：百万円)	2018年3月期		2019年3月期			
	実績 (a)	構成比	期初計画 (b)	構成比	修正計画 (c)	構成比
自動車関連情報	56,100	90.3%	56,010	89.8%	56,416	89.9%
広告関連	21,618	34.8%	21,724	34.8%	21,507	34.3%
情報・サービス	5,053	8.1%	4,745	7.6%	4,808	7.7%
物品販売	29,429	47.4%	29,540	47.4%	30,100	48.0%
生活関連情報	4,370	7.0%	4,504	7.2%	4,473	7.1%
不動産	213	0.3%	193	0.3%	195	0.3%
その他	1,426	2.3%	1,661	2.7%	1,644	2.6%
合計	62,111	100.0%	62,370	100.0%	62,728	100.0%

前期対比		期初計画対比	
(c)-(a)	%	(c)-(b)	%
315	100.6%	405	100.7%
▲111	99.5%	▲217	99.0%
▲244	95.2%	63	101.3%
671	102.3%	559	101.9%
102	102.3%	▲31	99.3%
▲18	91.2%	1	100.8%
217	115.3%	▲16	99.0%
616	101.0%	358	100.6%

営業利益 (単位：百万円)	2018年3月期		2019年3月期			
	実績 (a)	利益率	期初計画 (b)	利益率	修正計画 (c)	利益率
自動車関連情報	4,933	8.8%	5,484	9.8%	5,633	10.0%
生活関連情報	370	8.5%	130	2.9%	271	6.1%
不動産	170	79.8%	162	84.1%	176	90.3%
その他	▲71	-	28	1.7%	51	3.2%
管理部門	▲1,728	-	▲1,706	-	▲1,712	-
合計	3,674	5.9%	4,100	6.6%	4,420	7.0%

前期対比		期初計画対比	
(c)-(a)	%	(c)-(b)	%
699	114.2%	148	102.7%
▲99	73.3%	141	208.4%
5	103.2%	13	108.2%
123	-	22	179.3%
16	-	▲5	-
745	120.3%	320	107.8%

株主還元政策

■ 株主還元方針

継続的かつ安定的な配当に留意するとともに、将来の成長に備えるための内部留保の充実等を総合的に勘案したうえで利益還元に努めます。

内部留保資金につきましては、経営基盤の一層の強化ならびに事業規模の拡大を図るため、既存事業ならびに新規事業への投資資金として有効に活用してまいります。

■ 1株当たりの配当金の状況

	2016年3月期 (実績)	2017年3月期 (実績)	2018年3月期 (実績)	2019年3月期 (計画)
第2四半期末	19円00銭	25円00銭	25円00銭	25円00銭
期末	20円00銭	25円00銭	25円00銭	25円00銭
年間	39円00銭	50円00銭	50円00銭	50円00銭

配当金については変更なし（継続的かつ安定的な配当に留意する）

2019年3月期の取組み

ビジョン「カーライフのトータルサポート」

ビジョン カーライフのトータルサポート

2020年3月期
より着手

事業戦略

Goo Life Time Valueの構築

新車・中古車・整備の各事業領域における取組みを
有機的に結び付ける

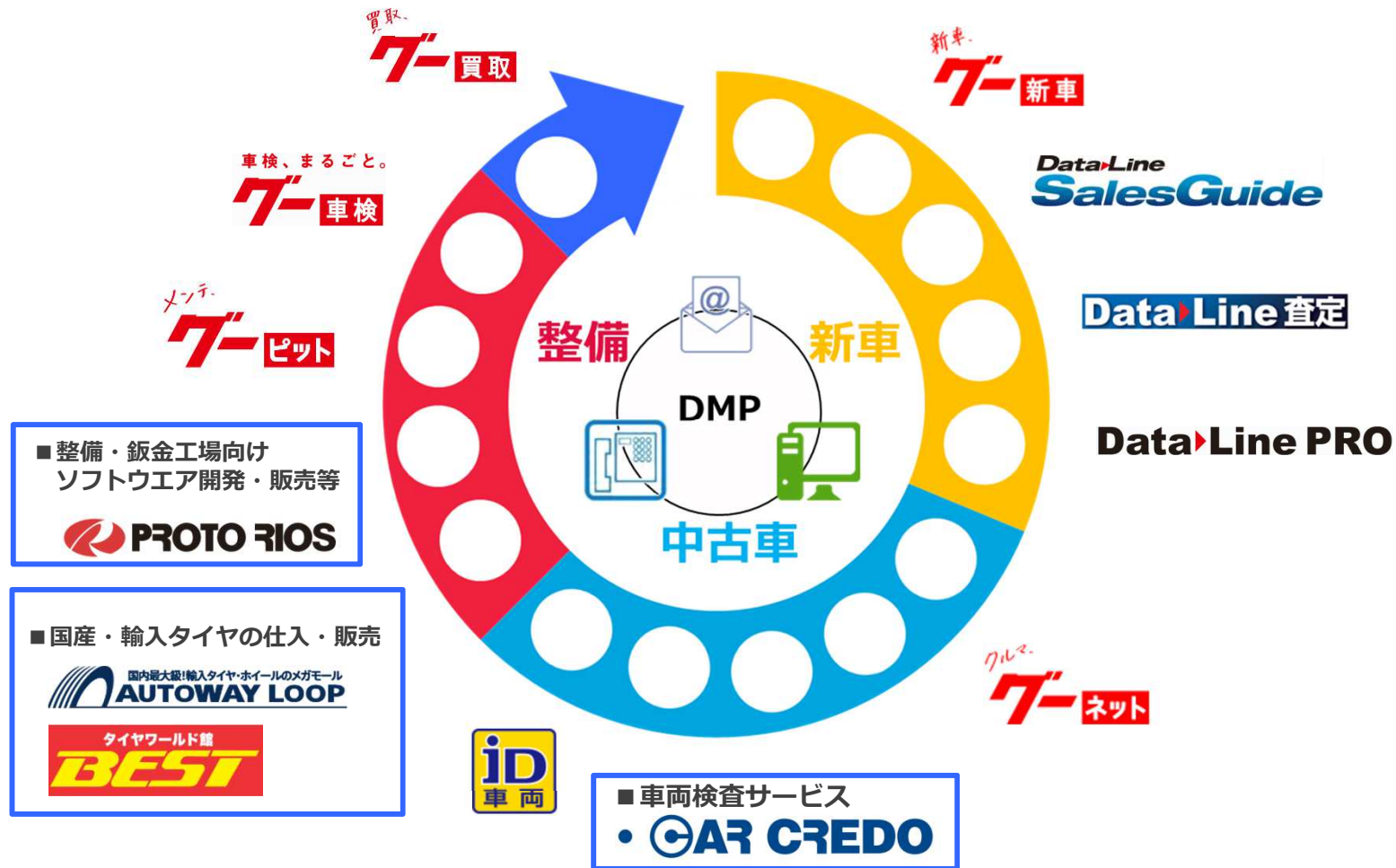
2019年3月期
～
2017年3月期

現状

新車・中古車・整備の
各事業領域にて取引社数を拡大し、
商品・サービスを展開

各事業領域において明確なポジションを確立する

事業戦略「Goo Life Time Valueの構築」



グーネット・グーピット・グー新車を有機的に結びつけ、
カーユーザーへのトータルサポートを実現する

2019年3月期 下期の取組み

1.中古車領域

→収益性の改善

- ・ グーネット取引社数の拡大
- ・ MGカレンダー等のアップセル推進
- ・ コスト構造改革の推進
- ・ DMP活用によるターゲティング広告の強化

2.新車領域

→成長性の向上

- ・ DataLine SalesGuide導入拠点数の拡大
- ・ 新車ディーラー向け経営支援の強化
(DataLine SalesGuideのアップセル推進)

3.整備領域

→成長性の向上

- ・ グーピット有料掲載工場数の拡大
- ・ カーユーザー送客インフラの構築
(集客提携先拡充、送客先の拡大)

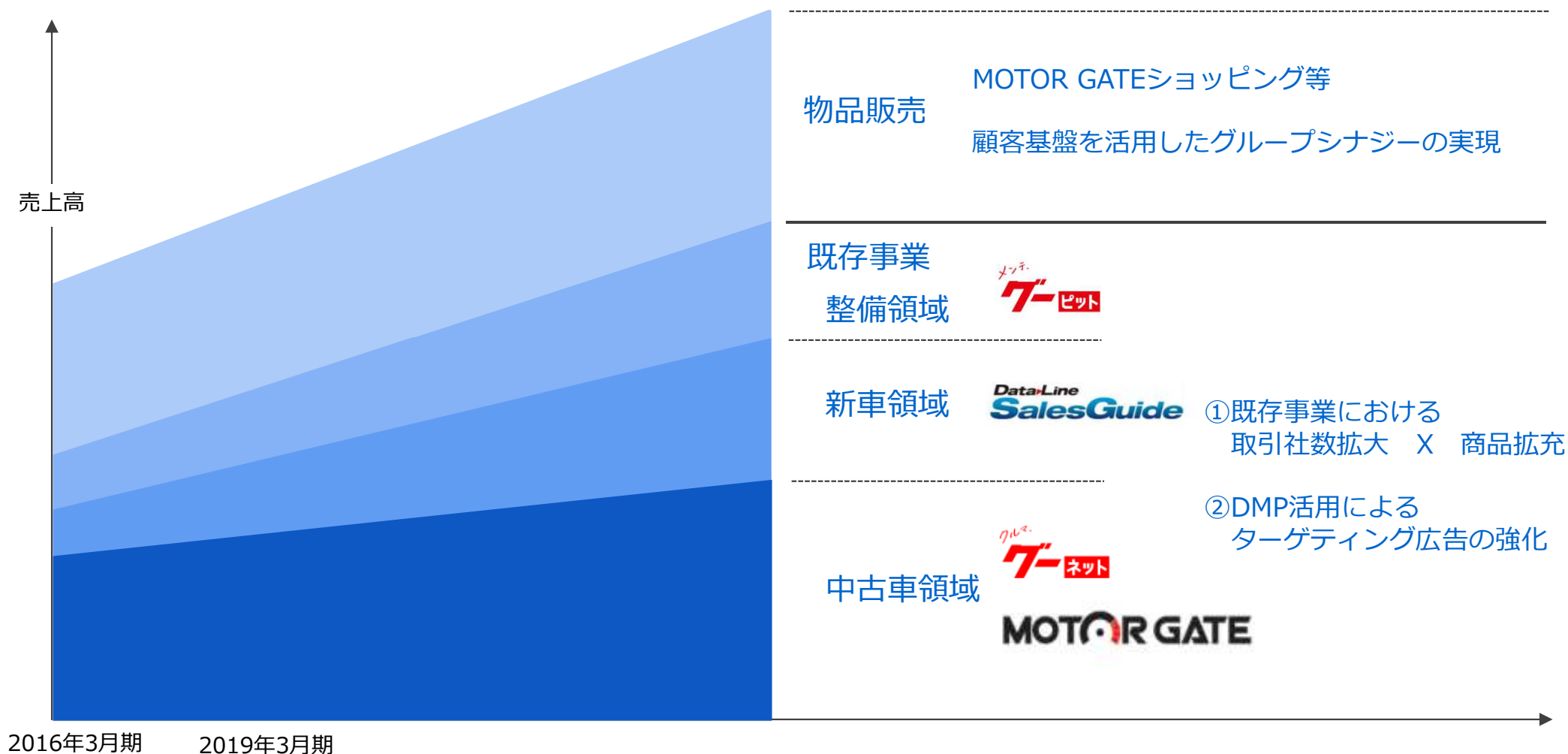
4.物販領域 (タイヤ・中古車輸出)

→収益性の改善

- ・ タイヤ：MOTOR GATEショッピングによる販売本数の拡大
- ・ 中古車輸出：取引条件見直しによる収益改善

各領域の収益性改善 及び ポジションの確立

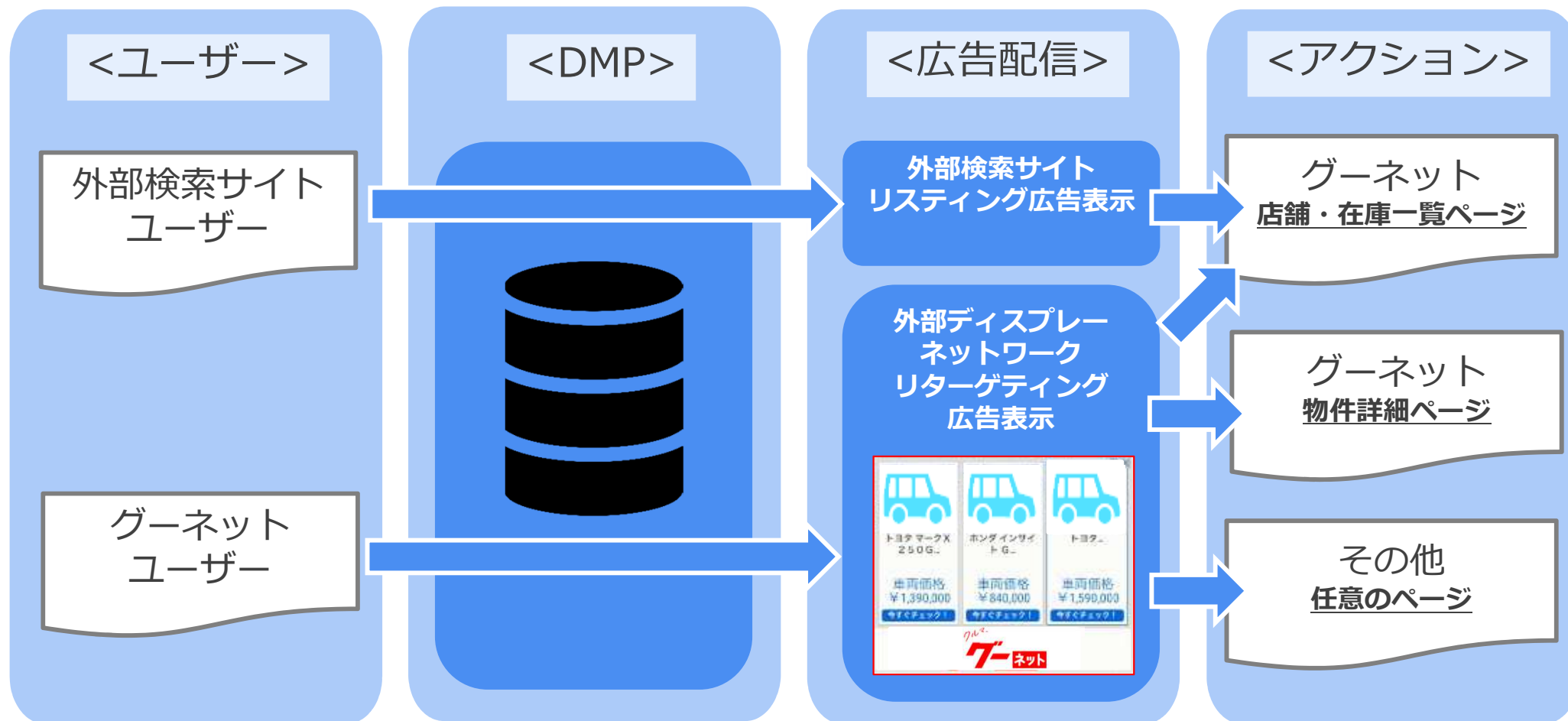
今後の成長戦略について



既存事業における取引社数拡大による成長に加え、DMP活用によるターゲティング広告・グループシナジーを通じた物品販売の強化を通じて、今後の更なる成長を実現する

参考 : DMPの取組み

■ 中古車ターゲット広告ビジネスの展開



クルマ購入を検討しているユーザーを対象に、
DMPを活用した精度の高い広告配信を実現

Appendix

会社概要

社名	株式会社プロトコーポレーション	
創業	1977年10月1日	
設立	1979年6月1日	
資本金	1,824,620,000円 (2018年12月31日現在)	
発行済株式総数	20,940,000株 (2018年12月31日現在)	
本社	〒460-0006 名古屋市中区葵一丁目23番14号 〒113-0033 東京都文京区本郷二丁目22番2号	
支社	札幌、仙台、高崎、長野、浜松、名古屋、金沢、大阪、広島、松山、福岡、熊本 (全国56拠点)	
事業年度末	3月31日	
社員数	連結：1,519名 (2018年12月31日現在) 単体：603名 (2018年12月31日現在)	
上場取引所	東京証券取引所JASDAQスタンダード (2001年9月12日 上場)	
連結子会社	<ol style="list-style-type: none"> 1.株式会社オートウェイ 2.株式会社タイヤワールド館ベスト 3.株式会社バイクプロス 4.株式会社キングスオート 5.株式会社プロトリオス 6.株式会社カークレド 7.株式会社カーブリックス 8.株式会社プロトメディカルケア 9.株式会社丸富士 10.株式会社シルバーはあと 11.株式会社プロトソリューション 12.株式会社沖縄コールスタッフサービス 13.PROTO MALAYSIA Sdn. Bhd. 14.台湾寶路多股份有限公司 15.CAR CREDO (Thailand) Co., Ltd. 16.CAR CREDO MALAYSIA SDN. BHD. (清算手続き中) 	<p>【2013年 4月子会社化】 (議決権所有割合：直接 100%)</p> <p>【2015年 4月子会社化】 (議決権所有割合：直接 100%)</p> <p>【2010年 4月子会社化】 (議決権所有割合：直接 100%)</p> <p>【2012年 4月子会社化】 (議決権所有割合：直接 100%)</p> <p>【2002年10月子会社化】 (議決権所有割合：直接 100%)</p> <p>【2012年 2月設立】 (議決権所有割合：直接 100%)</p> <p>【2017年 5月設立】 (議決権所有割合：間接 66%)</p> <p>【2009年10月子会社化】 (議決権所有割合：直接 100%)</p> <p>【2016年 1月子会社化】 (議決権所有割合：間接 100%)</p> <p>【2016年 1月子会社化】 (議決権所有割合：間接 100%)</p> <p>【2007年 4月設立】 (議決権所有割合：直接 100%)</p> <p>【2017年10月子会社化】 (議決権所有割合：間接 100%)</p> <p>【2011年 9月子会社化】 (議決権所有割合：直接 100%)</p> <p>【2011年12月設立】 (議決権所有割合：直接 100%)</p> <p>【2018年12月設立】 (議決権所有割合：間接 49%)</p> <p>【2015年 8月設立】 (議決権所有割合：間接 100%)</p>



月刊中古車通信 1977年創刊

会社概要

連結主要データ

発行済株式総数 (百万株)		20.9
時価総額(億円)	※2018年12月末	291.6
1株当たり年間配当(円)	※2019年3月期予想	50.0
1株当たり当期純利益(円)	※2019年3月期予想	148.49
1株当たり純資産(円)	※2018年3月期実績	1,293.62
ROE(%)当期純利益ベース	※2018年3月期実績	2.0
ROA(%)経常利益ベース	※2018年3月期実績	8.7
自己資本比率(%)	※2018年3月期実績	58.5
潜在株式数		-
外国法人等の株式保有比率(%)	※2018年12月末	29.96

大株主 (上位10名)

	(千株)
1) 株式会社夢現	6,807 (32.50%)
2) JPLLC CLIENT SAFEKEEPING ACCOUNT	1,325 (6.32%)
3) 日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	1,024 (4.89%)
4) 株式会社プロトコーポレーション	881 (4.20%)
5) BNYM NON-TREATY DTT	692 (3.30%)
6) JP MORGAN CHASE BANK 385632	568 (2.71%)
7) CLEARSTREAM BANKING S.A	528 (2.52%)
8) 横山博一	440 (2.10%)
9) 横山順弘	371 (1.77%)
10) 益田武美	313 (1.49%)

(2018年12月31日現在)

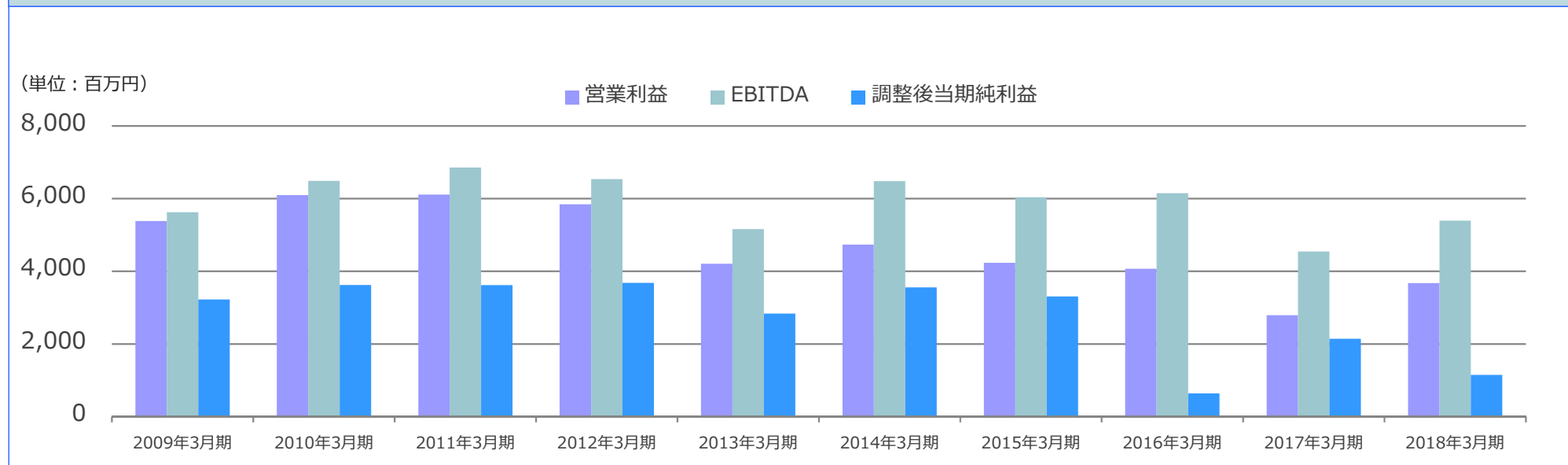
連結業績実績（10年推移）

(単位：百万円)	2009年 3月期	2010年 3月期	2011年 3月期	2012年 3月期	2013年 3月期	2014年 3月期	2015年 3月期	2016年 3月期	2017年 3月期	2018年 3月期
売上高	23,657	25,682	28,779	30,582	38,287	54,761	48,602	54,297	56,717	62,111
営業利益	5,384	6,098	6,111	5,846	4,209	4,735	4,233	4,071	2,795	3,674
当期純利益	3,187	3,529	3,197	3,275	2,290	2,627	2,381	▲ 390	1,506	519
EBITDA * 1	5,628	6,490	6,856	6,540	5,161	6,483	6,039	6,149	4,547	5,396
調整後当期純利益 * 2	3,223	3,621	3,620	3,680	2,836	3,555	3,308	641	2,145	1,151
減価償却費	207	299	322	288	404	819	879	1,046	1,113	1,089
のれん償却額	36	91	422	405	546	928	926	1,032	638	632

*1 EBITDAは、「営業利益+減価償却費+のれん償却額」にて算出しております。

*2 調整後当期純利益は、「当期純利益+のれん償却額」にて算出しております。

営業利益・EBITDA・調整後当期純利益の年次推移



連結業績 セグメント別（10年推移）

セグメント別売上高 (単位：百万円)	2009年 3月期	2010年 3月期	2011年 3月期	2012年 3月期	2013年 3月期	2014年 3月期	2015年 3月期	2016年 3月期	2017年 3月期	2018年 3月期
自動車関連情報	21,889	22,858	25,566	26,704	33,687	50,138	44,056	49,486	51,025	56,100
広告関連	19,419	19,511	20,558	20,579	21,163	21,412	21,593	21,006	21,231	21,618
情報・サービス	2,232	2,818	3,083	3,312	3,749	4,464	4,546	5,087	4,893	5,053
物品販売	237	528	1,923	2,813	8,774	24,262	17,915	23,392	24,899	29,429
生活関連情報	1,345	2,286	2,616	3,470	3,837	3,541	3,393	3,466	4,236	4,370
不動産	194	205	181	166	163	167	164	162	187	213
その他	227	332	415	240	597	913	988	1,182	1,268	1,426
合計	23,657	25,682	28,779	30,582	38,287	54,761	48,602	54,297	56,717	62,111

セグメント別営業利益 (単位：百万円)	2009年 3月期	2010年 3月期	2011年 3月期	2012年 3月期	2013年 3月期	2014年 3月期	2015年 3月期	2016年 3月期	2017年 3月期	2018年 3月期
自動車関連情報	7,034	7,590	7,281	7,272	5,916	6,217	5,624	5,277	3,939	4,933
生活関連情報	62	162	301	228	131	248	338	307	478	370
不動産	70	105	104	83	85	69	96	109	147	170
その他	▲ 80	▲ 35	▲ 91	▲ 149	▲ 323	▲ 140	▲ 94	▲ 66	▲ 136	▲ 71
管理部門	▲ 1,701	▲ 1,725	▲ 1,484	▲ 1,589	▲ 1,599	▲ 1,659	▲ 1,732	▲ 1,554	▲ 1,633	▲ 1,728
合計	5,384	6,098	6,111	5,846	4,209	4,735	4,233	4,071	2,795	3,674

セグメント詳細

セグメント詳細

■自動車関連情報

■ 広告関連



中古車 グーネット等のデータ登録料（MOTOR GATE利用料,グー買取等）

中古車 広告掲載料（WEB・情報誌等）、情報誌本売上

整備 グーピットへのデータ登録料

■ 情報・サービス



新車 プロトコーポレーション（DataLine SalesGuide、DataLine等）

中古車 プロトコーポレーション（グー鑑定、グー保証）

整備 プロトコーポレーション（グー車検）

整備 プロトリオス（整備・钣金システム販売）

■ 物品販売



オートウェイ・タイヤワールド館ベスト（EC:タイヤ・ホイール）
 キングスオート（中古車輸出）、バイクプロス（EC:バイク用品）
 プロトコーポレーション（EC:物品販売）

■生活関連情報



プロトメディカルケア（広告売上・福祉用具レンタル売上等）

プロトコーポレーション（カルチャー情報、リユース情報等）

■ **不動産** プロトコーポレーション（不動産賃貸収入）

■ **その他** プロトソリューション（BPO事業、ソフトウェア開発等）
 沖縄コールスタッフサービス（人材派遣等）
 オートウェイ（太陽光発電）
 プロトコーポレーション（農業事業）

■ 広告関連

主にMOTOR GATE月額利用料とグーネットによる広告収入が占める。

■ 情報・サービス

主に新車ディーラー向けのDataLine月額利用料、整備钣金システム売上が占める。

■ 物品販売

主にタイヤ・ホイールのEC販売、中古車輸出が占める。

主に介護・福祉関連の広告収入と福祉用具レンタル売上が占める

主に自社ビルの非稼働フロアの賃貸収入が占める

主にBPO事業の売上が占める

自動車関連情報：ドメイン別 主要サービス概要

<中古車領域>

サービス名	サービス内容	顧客	サービス利用者
グーネット	中古車検索サイト	中古車販売店	自動車購入ユーザー
MOTOR GATE	グーネットのバックグラウンドシステム	中古車販売店	中古車販売店
ID車両（グー鑑定）	車両状態情報開示サービス	中古車販売店	自動車購入ユーザー

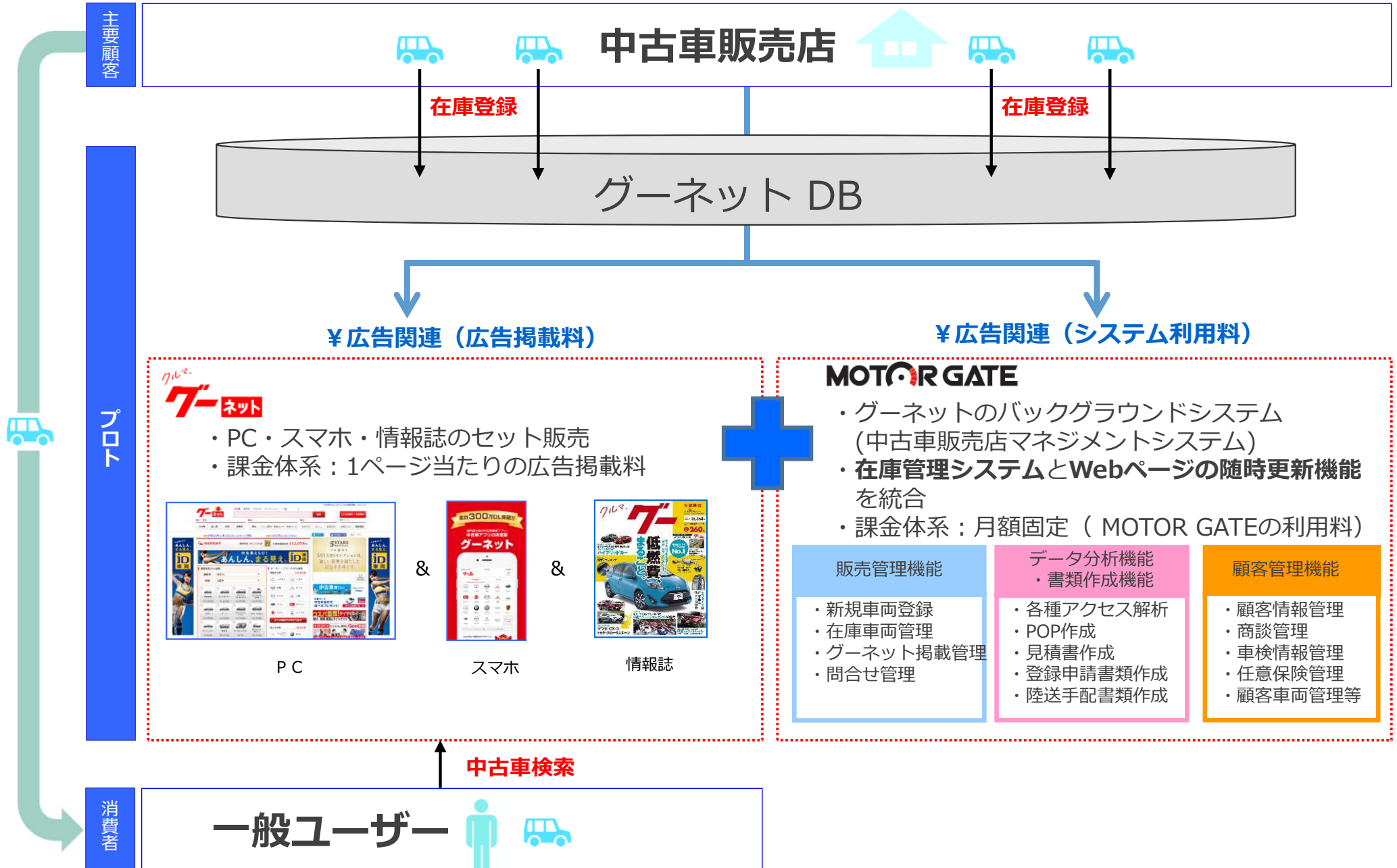
<新車領域>

サービス名	サービス内容	顧客	サービス利用者
DataLine SalesGuide	新車商談ツール	新車ディーラー	新車ディーラー

<整備領域>

サービス名	サービス内容	顧客	サービス利用者
グーピット	整備工場検索サイト	整備工場	自動車保有ユーザー
グー車検	車検送客サービス	自動車保有ユーザー	自動車保有ユーザー

中古車領域：グーネット・MOTOR GATEのビジネスモデル



中古車領域：グー鑑定ビジネスモデル

主要顧客



中古車販売店



↓
¥ 鑑定料

- ・ 課金体系：1台あたり課金
- ・ 2008年10月より全国展開開始

グー鑑定 3つのポイント

- ① 第三者機関の日本自動車鑑定協会（JAAA）の基準に基づき中古車を鑑定
- ② 外装・内装・機関・修復歴の4項目について鑑定を実施
- ③ 鑑定した外装、内装、機関、修復歴のそれぞれについて評価を定め、情報を開示

プロト（検査子会社）カークレド



グー鑑定の概要と図解（一例）



↑ 中古車検索

消費者

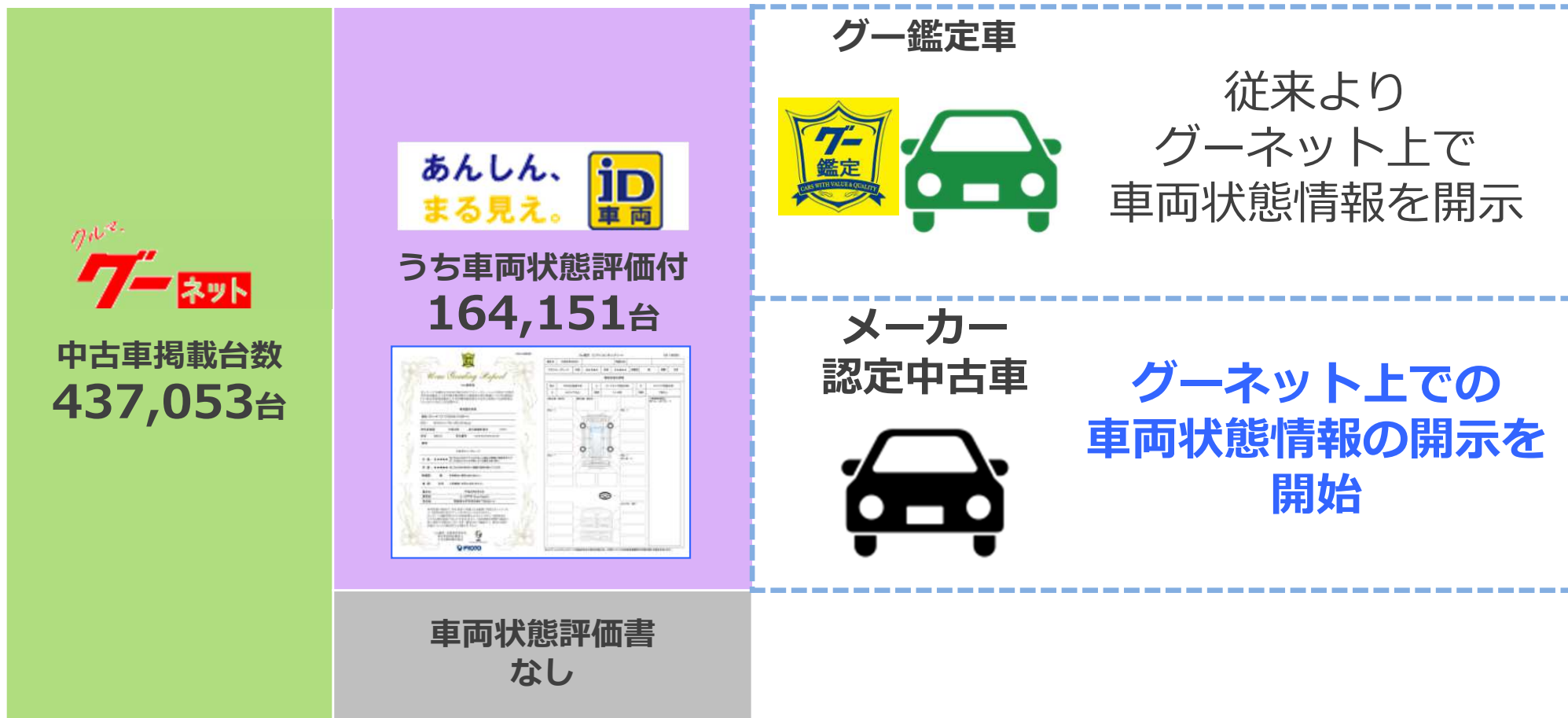
一般ユーザー



中古車領域：中古車の車両状態情報の開示

■ 競合メディアとの差別化：車両状態情報開示を通じた成約率の向上

→ 「ID車両」をサービスイン（2016年8月18日～）



※参考 競合メディアの車両状態情報開示 41,582台

(2019年1月22日 時点)

ユーザーが抱く中古車への不安を払拭し
より安心して中古車を購入できる環境をつくる

新車領域 : DataLine SalesGuide

主要顧客



新車ディーラー



¥サービス利用料

DataLine SalesGuide

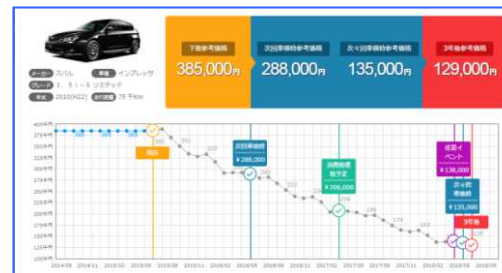
- 課金体系：月額固定
- ユーザーとの商談の際に現在価値と将来価値の概算を提示し、乗換促進を実現する



コスト比較提案機能



将来価格予測グラフ機能



乗り換えPOP機能



乗り換えシミュレーション機能



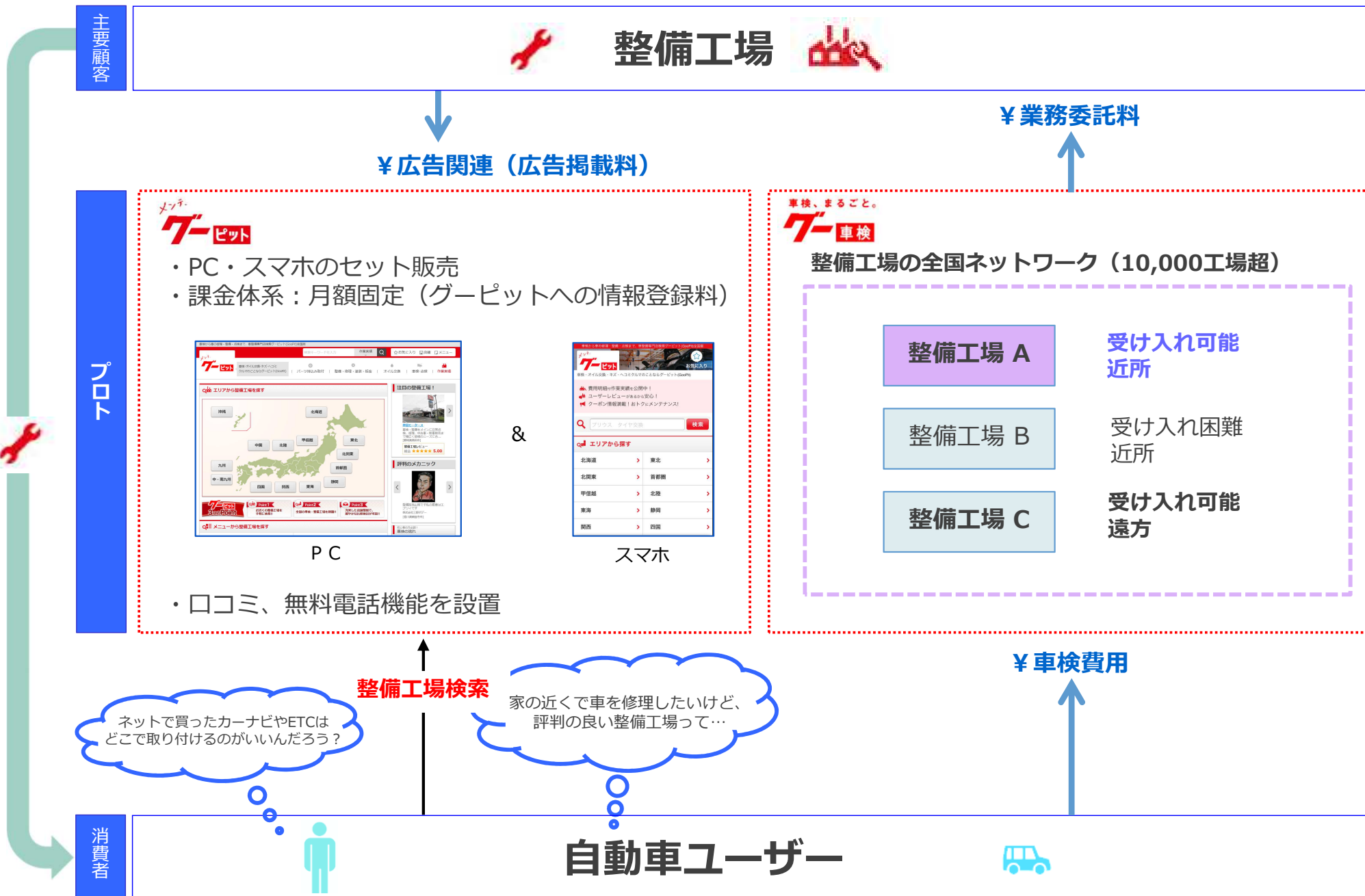
プロト

消費者

自動車ユーザー



整備領域：gooピット・goo車検のビジネスモデル



※ 本資料に記載の金額は、全て百万円未満を切り捨てて表示しております。

◆将来予測について

本資料で提供されているIR情報には、将来の見通しに関する情報が含まれています。

これら歴史的事実以外の情報は、当社グループが属する業界の競争、市場、諸制度に係るリスクや不確実性による影響を受ける可能性があります。その結果、当社が現時点で把握可能な情報から判断した仮定及び推測に基づく見込みは、将来における実際の成果及び業績とは異なる場合があります。ご承知おきください。

◆本資料及び当社IRに関するお問い合わせ先

株式会社プロトコーポレーション 経営戦略室 鈴木、高林

Tel : 052-934-1519

Mail: 4298ir@proto-g.co.jp